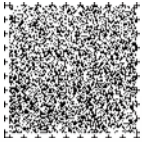


**地域に密着し健康増進と
親睦の機会を市民に提供**

「いぶすきスポーツクラブ」は、総合型地域スポーツクラブとして2003年に設立され、2012年に特定非営利活動法人となりました。指宿市と連携しながら市民の健康づくりに努め、「いつでも・どこでも・だれでも」の理念のもと、あらゆる世代の会員に心身の育成と会員同士の親睦の機会を提供。指宿総合体育館など同クラブが指定管理を行うスポーツ施設で、健康増進を主目的とした19のサークル・教室を運営し、現在は340名の会員がさまざまなスポーツを楽しんでいます。

いぶすきスポーツクラブが運営するサークルの中で、視覚障害のある会員が集うのがサウンドテーブルテニスサークル「なのはなクラブ」です。会員は60〜80代の男女8名で、全員が現役のマッサージ師。視覚障害のあるマッサージ師が働く温泉旅館や大型ホテルの多い指宿

型ホテルの多い指宿



特定非営利活動法人 **いぶすきスポーツクラブ**



会心のプレイに思わず笑顔



金属球の入ったボールを台上で打ち合う



「活動のある日楽しい」と皆さん



ボールの転がる音をしっかりとらえる



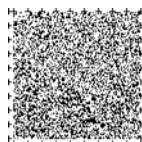
雑音がほとんど入らない室内が、サウンドテーブルテニスサークル「なのはなクラブ」の活動の場

は、視覚障害者スポーツへの取り組みが他の地域より比較的早かったといわれており、なのはなクラブも活動歴が長い会員がほとんどです。

**会員の自主性を尊重しながら
継続可能な活動をサポート**

なのはなクラブの活動は週2回。いぶすきスポーツクラブは場所の提供と活動の事務補助を行い、活動自体は会員の自主性を尊重していますが、会員の求めがあれば柔軟に対応して常に温かく見守っています。会員は、九州大会出場を目指している人、「ここへ来ておしゃべりするだけで楽しい」という人などさまざまですが、共に汗を流し共に笑う喜びを全員がかみしめています。

「誰かの支えがないと外出する機会を持っていない人にも、健康づくりやコミュニケーションを楽しんでもらえるように、障害の有無によって分け隔てることなくスポーツができる場を提供していきたい」と話すのは、理事長兼事務局長を務める下敷領正さん。一人ひとりの状態に合ったスポーツを提案できるのは、多彩なサークル・教室を運営するいぶすきスポーツクラブの強みです。同クラブは、障害者スポーツに取り組んできた実績が認められ、平成29年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞。これからも「健康のまち・指宿に根差したクラブの発展に力を注いでいきます。」



特定非営利活動法人
いぶすきスポーツクラブ

指宿市東方12000番地(指宿総合体育館内)
TEL・FAX 0993-24-5366
<http://ibusukisportsclub.wixsite.com/ibusuki-sports-club>